

パブリック・コメント手続きによる意見募集 の意見要旨と対応について

(意見募集対象：国史跡福岡城跡整備基本計画(原案))

平成26年6月
福岡市

目 次

1. 意見募集の実施概要について	1
(1) 実施目的	1
(2) 実施機関	1
(3) 公表・意見募集期間	1
(4) 実施方法	1
2. 意見の提出状況について	2
(1) 意見提出者数	2
(2) 意見総数	2
3. 意見要旨と意見への対応について	3

1. 市民意見の要旨と対応について

(1)実施目的

「福岡城跡整備基本計画」の策定にあたり、検討委員会での議論を踏まえて取りまとめた計画原案について、パブリックコメント手続きによって意見募集を実施した。

(2)公表・意見募集期間

平成26年 1月6日から 平成26年2月4日まで（30日間）

(3)実施方法

①計画原案の公表方法

計画原案について、下記の場所で縦覧・配布を行うとともに、市のホームページにおいて掲載した。

《縦覧・配布場所》

大規模史跡整備推進課、情報公開室、情報プラザ、各区役所情報コーナー、
入部出張所、西部出張所、福岡城むかし探訪館、鴻臚館跡展示館

②意見募集の周知方法

- ア. 市政だよりによる周知
- イ. 市ホームページによる周知
- ウ. 新聞広告による周知
- エ. テレビを活用した周知（テレビCM放映、テレビ番組内での告知）
- オ. デジタルサイネージを活用した周知（ソラリアビジョン、市役所1階）
- カ. 現地（舞鶴公園、大濠公園）での周知

③意見の提出方法

意見提出用紙を計画原案の縦覧・配布場所で配布するとともに、市ホームページにも掲載し、縦覧・配布窓口への持参、郵便、FAX、電子メールによって意見を受け付けた。

2. 意見の提出状況について

(1) 意見提出者 96人

(提出方法 持参4人・FAX2人・電子メール10人・現地意見80人)

(2) 意見件数 115件

[参考]

該当項目		意見数	割合
第1	整備基本計画策定の目的	1	0.9%
第2	福岡城跡の概要と現状	0	0%
第3	整備の理念と基本方針	5	4.3%
第4	基本計画		
	1 地区区分計画	0	0%
	2 保存修復計画	0	0%
	3 復元整備計画	50	43.5%
	4 環境整備計画	32	27.8%
	5 調査研究計画	0	0%
	6 周辺地域の環境保全・整備計画	1	0.9%
	7 公開・活用計画	8	7.0%
	8 管理・運営計画	5	4.3%
第5	事業計画		
	1 段階的整備計画	4	3.5%
	2 事業推進のための取組み	3	2.6%
その他		6	5.2%
合計		115	100%

第1 整備基本計画策定の目的

6 策定の体制と経過(P3～4)

意見主題	意見要旨	意見への対応と考え方
検討体制等について	検討委員会の構成メンバーについて、一般市民の参加が少ないため、様々な分野で活躍している10～15名以上のメンバーで構成しないと、市民意見は反映がしにくいと考えられる。また、検討テーマも、鴻臚館、福岡城、セントラルパークを同時に計画すること自体が難しいと言わざるを得ないと考えられる。	<p><input type="checkbox"/>その他</p> <p>検討委員会のメンバーは、さまざまな意見交換が行えるよう、国史学、建築学、考古学、土木工学、造園学といった各分野の専門家と、市民代表及び行政から選出させて頂きました。</p> <p>その上で、より幅広い市民意見をパブリックコメントにより募集させて頂いたところです。</p> <p>また、鴻臚館、福岡城、セントラルパークは、各々が密接に関わることから、同時進行で検討し、相互の調整を図ることとしています。</p>

第2 福岡城跡の概要と現状

3 福岡城跡の現状と価値

[古写真に見る建造物—明治初年ころ撮影](P24)

意見主題	意見要旨	意見への対応と考え方
本丸御殿古写真について	ネットオークションで出品されていたもので、福岡城本丸御殿として紹介されていた写真(※P24写真2-1と類似の建物)の裏面に、「福岡県城内二ノ丸玄関」と記載されていたため、入念な調査・検討をお願いしたい。	<p><input type="checkbox"/>その他</p> <p>写真2-1の古写真は、現存する資料と整合がとれていることから、本丸御殿であると認識しております。</p>

第3 整備の理念と基本方針

1 整備の理念(P60)

意見主題	意見要旨	意見への対応と考え方
福岡市の原点	福岡市の原点は、金印・鴻臚館に象徴される古代からの大陸との交流の窓口である博多だと考えられることから、福岡城を原点とする表現には反対。	<p><input type="checkbox"/>原案通り</p> <p>パブリックコメント時の添付資料では、福岡城が「福岡」の名前の由来であること等を踏まえ、「福岡」の原点という表現を用いておりましたが、福岡の歴史的原点は、金印・鴻臚館に象徴される古代からの大陸との交流であるとも言えることを踏まえ、計画本文(P60)では、「現代に至る『都市』福岡の基礎を形成した…」という表現にしております。</p>

2 基本方針(P61)

意見主題	意見要旨	意見への対応と考え方
鴻臚館	福岡の全国的な優位性を持つ観光資源は、2000年の歴史を持つ博多の港であり鴻臚館であるため、史跡関連の復元は福岡城ではなく、鴻臚館関連に重点を置くべきと考える。	<p><input type="checkbox"/>原案通り</p> <p>福岡城も鴻臚館も、福岡の歴史を語る上でどちらも大切な歴史的資源であり、また、その重層性が全国に誇ることのできる特徴であることから、双方の史跡を活かした整備、活用を図ることを基本としています。なお、鴻臚館についても、別途整備構想を検討・策定中です。</p>
復元対象時期	<p>福岡城跡の整備事業において、市民が一番望むものは城の象徴でもある天守閣である。このため、基本方針で掲げている「復元対象時期は、史跡鴻臚館跡を除き、原則として学術的基準を満たし得る近世城郭としての最終形であった幕末期とする」を、「復元対象時期は、史跡鴻臚館跡を除き、原則として学術的基準を満たし得る近世城郭としての最終形であった幕末期を基本とするものの、<u>鴻臚館や天守閣など、観光資源として復元の必要性がある施設については、幕末期にこだわらず、今後も国等の動向を踏まえ、行政と地域・市民団体等が連携して整備の可能性について検討を進めていく。</u>」と修正して頂きたい。</p>	<p><input type="checkbox"/>一部修正</p> <p>天守を含めた福岡城跡における歴史的建造物の復元は、調査研究等により、歴史的な真正性が確保できたものから復元していくことを基本としています。</p> <p>また、天守など、現時点では真正性の確保が困難であることから復元整備対象としなかった建造物についても、今後の調査研究により、復元に繋がる資料等が十分確認された場合は、今後復元整備対象となり得る可能性はあります。この点をより分かりやすくするため、以下のとおり修正いたしました。(※ゴシック部分)</p> <p>○修正内容</p> <p>P65</p> <p>(3) 歴史的建造物の復元</p> <p>「C」「D」評価の建造物については、今後の調査研究により、復元に繋がる資料等が十分確認された場合に、当該建造物について復元可能性の再評価を行い、復元整備の対象となり得るか検討を行う。</p> <p>なお、今回中期段階での整備予定としている武具櫓は、福岡城最大規模の建造物であり、福岡城のシンボリックな建造物となり、観光資源として寄与できるものと考えております。</p>

第4 基本計画

2 保存修復計画

(4) その他の遺構(P64)

名島門	舞鶴中の門と名島門は残してほしい。 <input type="checkbox"/> 現地意見	<p><input type="checkbox"/>原案通り</p> <p>名島門については、本来福岡城内に存在したものではないため、適切な場所に戻すことが望ましいですが、当面の間、現在の位置にて保存していきます。</p> <p>現在の舞鶴中学校の門については、保存の予定はありません。</p>
-----	----------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 復元整備計画

(3) 歴史的建造物の復元(P65～68)

意見主題	意見要旨	意見への対応と考え方
復元について (全般) (復元を望む)	城の復元。鉄筋コンクリートではなく昔風に木造で。 ※現地意見	<p>□一部修正</p> <p>天守を含めた福岡城跡における歴史的建造物の復元は、調査研究等により、歴史的な真正性が確保できたものから復元していくことを基本としています。</p> <p>また、天守など、現時点では真正性の確保が困難であることから復元整備対象としなかった建造物についても、今後の調査研究により、復元に繋がる資料等が十分確認された場合は、今後復元整備対象となりえる可能性はあります。この点をより分かりやすくするため、以下のとおり修正いたしました。(※ゴシック部分)</p> <p>○修正内容</p> <p>P65</p> <p>(3) 歴史的建造物の復元</p> <p>「C」「D」評価の建造物については、今後の調査研究により、復元に繋がる資料等が十分確認された場合に、当該建造物について復元可能性の再評価を行い、復元整備の対象となり得るか検討を行う。</p> <p>なお、今回中期段階での整備予定としている武具櫓は、福岡城最大規模の建造物であり、福岡城のシンボリックな建造物となり、観光資源として寄与できるものと考えております。</p>
	歴史の復元をするのであれば、きちんと文献を基に当時を再現できるようなものであれば賛成です。 ※現地意見	
	城を作るなら、ぜったいあったものだけ作って欲しい。確証のないことはしないで欲しい。 ※現地意見	
	天守閣の無い福岡城では料金はとれない。天守閣は無理でも櫓だけでも早く復元していただきたい。	
復元について (全般) (復元は望まない)	城の復元は大賛成。 ※現地意見 (以下、同様のご意見15件)	
	福岡城遺跡を官兵衛ブームにあやかり、人工的に創作しないこと(無現存復元はやめること。) ※現地意見	
	歴史を大切にしてほしいが、わざわざつくらなくて良い。もともとあるものを大切に。 ※現地意見	
	城はわざわざ創る必要はない気が…。チャチになってしまいそう。 ※現地意見	
	あえて城を創るのは人工的になってしまうから、歴史的な感じもしいし、自然を大切にしてほしい。 ※現地意見	
	新しい建物などはあまりつくらず古いものを活かした計画が良いです。 ※現地意見	
	変な建物を建てるのであればやめたほうが良いのでは。 ※現地意見	
城はホログラムにすれば良いのでは。(経費削減に。城をつくらなくて欲しい人のためにも。) ※現地意見		
復元について (天守の復元を望む)	お城は復元しない方がよいと思います。 ※現地意見	
	現代版福岡城天守閣を現在の天主台跡に建立・博物館化する。	
	大阪城や中津城も模擬天守であるが、天守の存在は圧倒的に人を惹きつける。このため、全ての復元建造物に優先して整備する必要がある。	
	天守について存在したことが確認されていないため、「D復元が極めて困難」と判断するのは止むを得ない。しかし、日本の城は再建されたものも多く、それぞれ観光資源として寄与していることから、福岡	

意見主題	意見要旨	意見への対応と考え方
復元について (天守の復元を望む)	<p>城も復元整備されれば福岡の観光の目玉になることが期待される。</p> <p>表 4-3「Dの復元が極めて困難」の欄から「天守閣」を削除した上で、表の下の欄外に「※なお、天守閣については、今後も国等の動向を踏まえ、行政と地域・市民団体等が連携して整備の可能性について検討を進めていく。」を追記して頂きたい。</p> <p>天守閣は造った方がよい。早く進めて欲しい。行政が積極的にやれば市民はついてくるはずだ。【※現地意見】</p> <p>本丸があったことを早く証明し、福岡城跡に福岡城を築城すること。【※現地意見】</p> <p>天守閣を復元してほしい。【※現地意見】 (以下、同様のご意見10件)</p>	同上
復元について (真正性が確保されれば、天守の復元を行っても良い)	<p>天守閣については確実に有ったという証拠が出てこない限り造るべきではない。</p> <p>天守閣は無理に造らなくて良い。史実の決着がついてからが良い。【※現地意見】</p> <p>コンクリートの天守閣はうかつに作らないほうが良い。【※現地意見】</p> <p>文献を詳細に調査し天守閣を建立してほしい。【※現地意見】</p>	
復元について (天守の復元に反対)	<p>天守閣等はいらない。落ち着いた今のままが良い。【※現地意見】</p> <p>反対！天守閣は元々無かったのに作る必要はない。【※現地意見】</p> <p>天守閣はなくていい。今のままで手を加えず自然のまま、昔のまま。コンクリートなどが入るのはイヤ。近代的にならないで欲しい。【※現地意見】</p>	
櫓復元の順番	<p>現存建築物である太鼓櫓(伝潮見櫓)の移築、花見櫓・潮見櫓の城内復元が先決だと思います。特に花見櫓と潮見櫓は解体した部材を長い年月保管しており、いつまでもこの状態にしておくことは望ましくないと考えます。次に祈念櫓を原型に復元し、本丸表御門を移築、そして武具櫓、松の木坂御門と大組櫓、屏風櫓及び本丸裏御門と進めてはいかがでしょうか。</p>	<p>□原案通り</p> <p>潮見櫓については、短期での整備を予定しています。</p> <p>花見櫓については、近接する住宅に配慮しながら、将来整備を行うこととしています。</p> <p>伝潮見櫓については、本丸裏御門と併せた整備が必要であるため、中期での整備予定としています。また、武具櫓、祈念櫓についても中期での整備を予定しています。</p> <p>本丸表御門、松の木坂御門、大組櫓、屏風櫓(向櫓)については、所有者との協議や、復元のための調査に時間を要することから、将来としています。</p>

(4) 石垣の保存(P64)

意見主題	意見要旨	意見への対応と考え方
石垣調査	石垣の調査をじっくりやったほうがいい。 ※現地意見	<input type="checkbox"/> 原案通り P64 のとおり、今後、詳細な石垣総合調査を進めることとしております。

(5) その他の遺構の復元(P68)

意見主題	意見要旨	意見への対応と考え方
城郭の顕在化	明治通りの東の端(高等裁判所)から西の端(簡易保険所)までの城郭を見える形に整備すると福岡城の広い敷地が分かり、市民の意識も高まる。古図や絵などにも濠には腰巻石垣のみで、その上に石垣でなく土塁との意見もあるが、石垣は大阪城築城に持ち出したとの説もあることから、これらの城郭の顕在化のために、市民・県外者・企業等から寄付(デジタル画像による寄付者名入りの石。小 5~10 万円、大 50~100 万円程度)を募り、新たな「平成の石垣」を造ってはどうか。また、石の購入者には石垣を築いていく工程と石垣の中の石の位置を示したDVDを配布すること等も考えられる。また、それが不可能であるのであれば、土塁の上の屋根瓦付きの白塀の復元を、同様の資金公募にて行ってはどうか。	<input type="checkbox"/> 原案通り ご提案のとおり、明治通りの東の端(高等裁判所)から西の端(簡易保険事務所)までの範囲は、福岡城跡の城郭景観の特徴が良く捉えられる重要な場所です。このため、他の歴史的建造物の復元の考え方と同じく、今後とも調査研究等により、歴史的な真正性を検証しながら復元をしていくこととしています。 なお、ご提案の寄付等の公募のアイデアについては、今後の福岡城跡の整備や管理運営を行っていく際の参考とさせていただきます。

(6) 庭園の復元(P69)

意見主題	意見要旨	意見への対応と考え方
花庭園	花庭園の遊歩道など	<input type="checkbox"/> 原案通り 現在は失われてしまった庭園の復元については、現状では、資料が限られていることから、発掘調査による遺構の残存状況等の確認や復元に向けた分析・検証等を行いつつ、将来的な整備を目指します。

4 環境整備計画

(1) 動線 (P71)

意見主題	意見要旨	意見への対応と考え方
散策路	散策路をもっと増やして欲しい。福岡城の路を歩きやすく周遊できるように。 ※現地意見	<input type="checkbox"/> 一部修正 P60 の基本方針のとおり、整備にあたっては「ユニバーサル都市 福岡」の理念に配慮した整備を行うこととしております。動線上の整備に関して、この点をより分かりやすくするため、以下のとおり修正いたしました。(※ゴシック部分) <input type="checkbox"/> 修正内容 P72 イ 主動線・副動線の考え方 なお、様々な来訪者が可能な限り多くのエリアを利用できるよう、 主動線・副動線上を中心に、史跡の適切な保存や本質的価値の保持を前提としつつ、「ユニバーサル都市 福岡」の理念に配慮した整備を行う。
バリアフリー	年長者、障害者のための昇降用の設備。 ※現地意見	
	階段を歩きやすくする。※現地意見 福岡城にスロープを増やして欲しい。 ※現地意見	

(2) 修景・植栽 (P76～81)

意見主題	意見要旨	意見への対応と考え方
④植栽の方向性		
石垣の顕在化	周辺の幹線道路から見えにくい櫓の復元より、石垣の顕在化を優先して実施すべきと考えられる。 樹木については、外周から建物や石垣がある程度みられるように適切な対応をお願いします。	<input type="checkbox"/> 原案通り P76, P77, P102のとおり、石垣の顕在化については、特に樹木により遮蔽され、その特徴が埋もれている箇所を優先して、初期段階から進めていくこととしています。
自然保護	舞鶴公園に緑の木が欲しい。桜は春だけで、冬になると枯れ木ばかりだから。 ※現地意見 芝生を増やしてほしい。お城っぽく。 ※現地意見 将来にわたり市民の財産として自然保護行って整備してください。 ※現地意見 歴史的構築物もいいが、自然も大事に育ててほしい。 ※現地意見 緑を残して欲しい。※現地意見 植物の伐採・選定・植栽にあたっては、十分な調査研究に基づいて実施して頂きたい。 自然を残して欲しい。※現地意見 今の自然・環境を残して良い舞鶴城を。 ※現地意見	<input type="checkbox"/> 原案通り 植栽の方向性としては、福岡城跡の価値を顕在化させ、史跡の歴史的価値と水・緑がもたらす現代的価値が調和する景観を創出し、来訪者がその景観の魅力を感じることができる場としていくことを基本的な考えとしています。 このことから、現在ある自然や緑を大切にしながらも、石垣等の遺構保存及び修景を図る上で阻害要因となっている樹木については適切な措置を図るとともに、歴史的景観復元を目指した樹木の更新・移植や植栽を行って参ります。

意見主題	意見要旨	意見への対応と考え方
	桜並木は無くしてほしくない。【※現地意見】	

(3) ガイダンス施設 (P82～87)

意見主題	意見要旨	意見への対応と考え方
① 本的な考え方		
施設整備の考え方	<p>福岡城においては、城郭建築風の様式を取り入れる等、景観を損ねない配慮と収容能力のあるガイダンス施設づくりが求められる。</p> <p>埼玉県の川越城や兵庫県の篠山城、佐賀県の佐賀城などは、いずれも天守閣ではなく本丸御殿(または大書院)等をガイダンス施設としており、ゆったりと館内を観て回ることによって歴史を感じ体験できたことから、福岡城跡においても、展示品等の収容能力が高く、ガイダンス施設としてふさわしい「本丸御殿」の再建を早めていくことも考えられる。</p> <p>ただし、西区今津にある元寇防塁の史跡広場は、福岡城の歴史を体感するにはややシンプルすぎるため、県外からの観光客も満足して滞在できるより歴史の香りが感じられる施設整備を期待したい。</p>	<p><input type="checkbox"/>原案通り</p> <p>ガイダンス施設については、既存施設や復元建造物の活用を図り、短・中期に復元整備を行う武具櫓等の復元建造物でのガイダンス機能の充実化を図ることを検討していきます。</p>
ガイダンス内容	<p>福岡の歴史がわかりやすいガイドや施設をつくってほしい。【※現地意見】</p> <p>城だけではなく、平和台球場や戦争の記憶など古代～近現代までの歴史がもっとわかると良いと思います。【※現地意見】</p> <p>福岡城跡 歴史的な資料残して欲しい。【※現地意見】</p> <p>歴史的な資料館(昔どうなっていたかなど)。【※現地意見】</p>	<p><input type="checkbox"/>原案通り</p> <p>ガイダンス施設について、基本計画においては、以下の考え方を基本に整備のあり方を検討していくこととしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○福岡城の価値・特質、歴史及び今後実施する調査研究や整備についての最新情報等を効果的に発信する展示・プログラム等を導入していきます。 ○古代～近世～現代の時代の重層性とともに福岡城のガイダンスを行い、福岡の都市形成史も合わせて理解できるようにします。 ○周辺文化施設との連携や関連歴史資源とのネットワーク化等による、ガイダンス機能の補完や広がりを目指し広域的なガイダンス展開も検討していきます。
劇場	<p>歴史資料館や古典芸能の復活(例えば新能)のための劇場をつくる。【※現地意見】</p>	<p><input type="checkbox"/>原案通り</p> <p>P98③に記載しているとおり、福岡城跡の活用に関して、史跡にふさわしい多様なイベントの実施を行うこととしています。そのため、本丸や二ノ丸については、その空間の特質を活かしたイベントの受入れができるような空間整備を検討していきます。</p>
④配置		
施設配置	<p>ガイダンス施設を史跡周辺に設置する際には、史跡との距離、移動手段、効果的な設置箇所数等についても考慮に入れて検討することが望まれる。</p>	<p><input type="checkbox"/>原案通り</p> <p>将来的に、ガイダンス施設を史跡周辺に設置する際には、周辺交通機関等からのアクセシビリティ、ガイドや遺跡巡りコース等の公開活用のあり方等を踏まえ、検討していきます。</p>

(4) サイン (P88)

意見主題	意見要旨	意見への対応と考え方
サイン	詳しく説明する標識が欲しい。【※現地意見】	<input type="checkbox"/> 原案通り 福岡城跡の解説標識(サイン)については、P88のとおり、来訪者に分かりやすく情報提供を行うよう、整備を進めていきます。

(5) 便益施設 (P89～90)

意見主題	意見要旨	意見への対応と考え方
② 駐車場		
駐車場整備	駐車場の整備にあたっては、お城をイメージした福岡しかないデザインの立体駐車場を整備し、ランドマークとしていってはどうか。	<input type="checkbox"/> 原案通り 駐車場については、景観や遺構の保存の観点から、将来的には史跡外へ配置することを原則としています。このため、史跡外の駐車場が確保されるまでの間は、暫定的に史跡内において景観や遺構の保存に配慮した駐車場の整備検討を行っていきます。 また、ご提案のおもてなしについては、舞鶴中学校跡地運営の参考とさせていただきます。
	現有の駐車場は、人的・物的両面において機能を発揮していない。大河ドラマの放映等から大型バス駐車場の早急な設置と共に、従業員においても法被等を着用させ、集客に対するおもてなし等サービス精神を身につけさせるなど意識改革を希望する。	
③ 便所		
便所整備	トイレの整備	<input type="checkbox"/> 原案通り 便所については、既存施設の活用を図りながら、景観と遺構の保存に配慮しつつ、ユニバーサルデザインへの対応を含め、高い利便性を実現できる施設配置の検討を行います。
④ 休憩施設		
各種休憩施設の整備	京都の映画村のような街並みで食事・ショッピングができる場所、川沿いや大濠公園の池沿いにおけるオープンカフェ、観光客のためのお城のような宿泊施設を設けてはどうか。 【※現地意見】	<input type="checkbox"/> 一部修正 特にご意見があった飲食・物販施設整備についての考え方を分かりやすくするため、以下のとおり修正いたしました。(※ゴシック部分) <input type="checkbox"/> 修正内容 P90 ④ 休憩施設 休憩施設については、遺構景観と遺構の保護に配慮しつつ、既存の四阿、パーゴラ、ベンチの活用を図りながら、史跡巡りや憩い・安らぎ等の様々な利用目的に対応できる施設の検討を行う。 また、このうち飲食・物販施設については、短期においては既存施設を活用することとし、中期段階において、それまでの整備の状況や来訪者の利用実態を踏まえた検討を行う。
	授乳室。カフェ。小さい子連れでも行きやすい場所を作って欲しい。【※現地意見】	
	もう少しカフェが欲しい。名物の食べ物を作って売って欲しい。【※現地意見】	
	ベンチを増やして欲しい。【※現地意見】	
	お店は少ない。自然だけでいい(木とか)。 【※現地意見】	
	食べるとこの店舗を増やして欲しい。 【※現地意見】	
	水飲み場の整備	

6 周辺地域の環境保全・整備計画

(2) 具体的な取組み(P95～96)

意見主題	意見要旨	意見への対応と考え方
歴史資料館整備	福岡(福崎)と博多とその周辺に、歴史資料館を整備し、鴻臚館(鴻臚館)跡との一体化に配慮した展示・回遊を行って欲しい。	<input type="checkbox"/> 原案通り P95のとおり、史跡指定範囲外の周辺地域における、福岡城跡との密接な関連性を有する歴史文化資源についても、適切に保存・活用を図っていくとともに、そのための環境整備について推進していくこととしております。

7 公開・活用計画

(2) 具体的な取組み(P97～99)

内容分類	意見要旨	意見への対応と考え方
① 統一的な発掘調査・整備状況の公開		
施設の公開	整備後の武具櫓は中を見学できるようにして欲しい。 <input type="checkbox"/> 現地意見	<input type="checkbox"/> 原案通り 武具櫓については、内部公開も含めて、ガイドンス施設としての活用を図ることとしています。 また、現在ある歴史的建造物については、さくらまつり等のイベント時に公開しているところですが、今後も公開する機会を設けていく予定です。
	現在ある物(例:日本庭園とか)も公開して欲しい。 <input type="checkbox"/> 現地意見	
② 跡にふさわしい多様なイベントの実施		
イベント等	プロジェクションマッピングは集客力のあるイベントであるため、福岡の歴史、祭りや食、文化の映像など盛り込んで行ってはどうか。また、美術館にも人を誘導できる様に芸術アートを点在させたり、外国人にも楽しめるような忍者や侍のショーや、福岡タワーや福岡ドーム球場等の市内の主要な施設と同時開催の花火大会を行う等、注目される演出・イベントを行って欲しい。	<input type="checkbox"/> 原案通り 基本計画では、市民及び来訪者の、福岡城跡の関連歴史文化資源に対する興味・理解を継続させるとともに、さらに新たな来訪者を増加させていくことができるよう、現在実施されている様々なイベント等と連携・発展させていくこととしています。 ご提案いただきましたアイデアについては、今後の検討の参考にさせていただきます。
	熊本城みたいにショーをやってほしい。 <input type="checkbox"/> 現地意見	
	外国の方も日本を感じられるような芸や伝統があればよい。 <input type="checkbox"/> 現地意見	
	忍者等もいると子供が楽しめるので良い。 <input type="checkbox"/> 現地意見	
③ 報の継続的発信		
観光PR	福岡城跡整備について、もっと早くからの計画で、今回の大河に向けて観光アピールすべきなのは・・・ <input type="checkbox"/> 現地意見	<input type="checkbox"/> 原案通り 福岡城跡の関連歴史文化資源への興味・理解を深めるためには、ご指摘のとおり、計画的・継続的な情報発信が必要です。 このため、今後とも現在実施されている様々な取組みと連携・発展させながら、市ホームページの充実化、パンフレット等の発行、シンポジウムや現地説明会の開催による情報発信を行い、観光PR等を行っていきます。
	旅行会社ともリンクし、外部からの観光の方を誘致したり、ボランティアの方と歩く史跡ウォーク等ツアー形式で発展するのいいと思います。 <input type="checkbox"/> 現地意見	

8 管理・運営計画

(2) 具体的な取組み(P100～101)

内容分類	意見要旨	意見への対応と考え方
②利用管理		
ホームレス	<p>不法滞在者の排除(然るべき施設への移動)</p> <p>ブルーシートハウスは何とかならないか。</p> <p>※現地意見</p> <p>(同様のご意見外1件)</p>	<p>□原案通り</p> <p>ホームレス対策につきましては、市嘱託員により巡回指導を実施しています。</p> <p>ホームレスにつきまして、福岡市ホームレス自立支援実施計画(第2次)において、「人権に配慮しながら、自立支援施策との連携を図るとともに、不法占用状態の解消に努める」とこととされており、直ちに強制退去を行うことは困難であるため、今後とも巡回・指導を粘り強く行い、保護課等関係機関と協力しながら自立を促していきます。</p>
④ 管理運営システム・体制整備		
ボランティア	<p>石垣の雑草等の管理については、市民のボランティアで協力していきたい。</p> <p>※現地意見</p>	<p>□原案通り</p> <p>現在、ボランティアの方々による清掃活動や、『福岡城むかし探訪館』における常駐のボランティアの方のガイド等が積極的に行われております。</p> <p>今後とも、さらにボランティアの活動範囲を広げられるよう、市民・各種団体・事業者等と連携を図りつつ、各種取り組みを推進できる体制等について検討して参ります。</p>

第5 事業計画

1 段階的整備計画

(1) 短期(P102)

意見主題	意見要旨	意見への対応と考え方
移転施設	<p>三ノ丸・二ノ丸のテニスコートの移転を早急に実施のこと、城の景観を阻害している。二ノ丸の球技場も、せめて短期計画に入れるべきではないか。</p> <p>鴻臚館付近の「詰所？」の移転を望む。</p>	<p>□原案通り</p> <p>テニスコートや球技場の移転につきましては、施設利用者への影響にも留意する必要があります。今後、関係者と協議しながら、早期の計画実現に向けて取り組んでまいります。</p> <p>鴻臚館跡展示館そばのプレハブ倉庫については、景観への配慮の観点から、今後、移転について、関係者と協議を行ってまいります。</p>

(3) 将来像(参考)(P109)

意見主題	意見要旨	意見への対応と考え方
天守閣	表 5-3 の欄外に「※なお、天守閣については、今後も国等の動向を踏まえ、行政と地域・市民団体等が連携して整備の可能性について検討を進めていく。」を追記して頂きたい。	<p><input type="checkbox"/>一部修正</p> <p>天守など、現時点では真正性の確保が困難であることから復元整備対象としなかった建造物についても、今後の調査研究により、復元に繋がる資料等が十分確認された場合は、今後復元整備対象となり得る可能性はあります。この点をより分かりやすくするため、以下のとおり修正いたしました。(※ゴシック部分)</p> <p><input type="checkbox"/>修正内容</p> <p>P65</p> <p>(3) 歴史的建造物の復元</p> <p>「C」「D」評価の建造物については、今後の調査研究により、復元に繋がる資料等が十分確認された場合に、当該建造物について復元可能性の再評価を行い、復元整備の対象となり得るか検討を行う。</p>

(4) 年次スケジュール..... 113

意見主題	意見要旨	意見への対応と考え方
スケジュール	お城整備を早くして欲しい。 <input type="checkbox"/> 現地意見	<p><input type="checkbox"/>原案通り</p> <p>本計画を進めるにあたっては、遺構等の調査研究・修復、城内の諸施設の移転、事業予算、その他社会情勢等、様々な条件との調整を取りながら行う必要があります。このため、それらの様々な条件を勘案し、短・中期的に取り組む事が可能な事業と将来的な視点で取り組む必要がある事業等を分け、段階的に整備を進めていくこととしております。</p>
事業費	大掛かりな経費をかけるのはどうなのかと思う。もっと違うところに目を向けるべきでは。 <input type="checkbox"/> 現地意見	<p><input type="checkbox"/>原案通り</p> <p>事業費については、今後さらに十分な精査を行い、効率的、効果的な執行を図ってまいります。</p>

2 事業推進のための取組み

(3) 市民と一体となった整備の推進(P114)

意見主題	意見要旨	意見への対応と考え方
基金	<p>基金等に併せ、着工から完成まで一連の工事全てを、スペインのサクラダファミリアのように有料公開することにより、収益の一部を整備費に充てるとともに、観光名称として確立して行ってはどうか。</p> <p>1口城主や基金の設立等を早急に行って頂きたい。<input type="checkbox"/>現地意見</p>	<p><input type="checkbox"/>原案通り</p> <p>計画の実現には、多額の事業費が必要であり、そのための財源を確保する必要があります。このため、基本計画においては、今後、『福岡城跡整備基金(仮称)』の設置等による受け入れ体制整備について、関係機関との協議を重ねながら検討していくこととしています。</p>

意見主題	意見要旨	意見への対応と考え方
	国及び県からお金を引っ張ってくる。募金を募る。 ※現地意見	ご提案いただきましたアイデアについては、今後の検討の参考にさせていただきます。

その他の意見

意見主題	意見要旨	意見への対応と考え方
銅像	黒田官兵衛や、黒田二十四騎の銅像等を、ゆかりのある復元建造物の周辺に設置すれば、歴史の趣を城に与える事ができ、望ましいのではないだろうか。	<input type="checkbox"/> 原案通り 今後の検討において、頂いたご意見を参考にさせていただきます。
ロープウェイ	福岡は交通手段がバスしかないところが多いため、潜在的に集客力のある施設でも交通の利便性の低さから、利用が伸びていないと考えられる。このため、福岡全体を1つのテーマパークに見立て、将来的に市内各地をロープウェイで繋ぎ、舞鶴、大濠公園にも駅(セントラルパーク)を作ってはどうか。中途半端な考えでは、いずれ飽きられてしまうため、思い切ったことをやるべきである。	<input type="checkbox"/> 原案通り 全市的な交通体系の在り方に関するご意見として今後、交通体系を検討する際の参考とさせていただきます。
建築の移築	城外に貴重な高い数奇屋建築があるが、これを福岡城の一画に移築し、おもてなしの施設として活用することは、考えられないだろうか。	<input type="checkbox"/> 原案通り 史跡内は、原則として学術的基準を満たし得る近世城郭としての最終形であった幕末期を復元対象時期としていますので、ご理解下さい。
探訪館、公園管理事務所	福岡城むかし探訪館について、トイレ・洗面所及び集客の待機、休憩所等の整備充実。舞鶴公園管理事務所は、目立たず競技場の管理のみと見られがち、観光の場としての機能、充実を望みます。	<input type="checkbox"/> 原案通り 探訪館につきましては、遺構や景観への配慮から、現在の機能・規模での整備を行っているものですが、ご要望として今後の参考とさせていただきます。 舞鶴公園管理事務所につきましては、福岡城跡のみならず、大濠公園と舞鶴公園の一体的活用を図るセントラルパーク構想と連携しながら、今後、観光等の機能充実についても検討します。
	福岡市民は広大な城下町を意識することが少ないため、このようにパブリックコメントを実施することは福岡が城下町であった歴史を見直すきっかけとなり良いことである。 ※現地意見	パブリックコメントへのご協力、誠にありがとうございました。福岡城跡を中心とする歴史資源は、私たち福岡市民の大切な財産として、市民・行政等の協働によりいつまでも大切にしていきたいと考えておりますので、今後とも、ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。